

Otto Bock[®]

QUALITY FOR LIFE

1M10 アジャスト

高い安定性
活動性の向上
個性の重視

安定性が生み出す活動性





一人ひとり、皆違う。

オットーボックは、このコンセプトに基づいてアジャスト 1M10 を開発しました。アジャストは、義足ユーザー一人ひとりのニーズに合わせて、素早く簡単に調整することができます。

アジャストは、屋内での義足生活が中心で、屋外には時折出るだけというユーザーや、歩行補助具と併用して義足を使用するユーザーに適しています。



優れた特長

高い安定性
活動性の向上
個性の重視

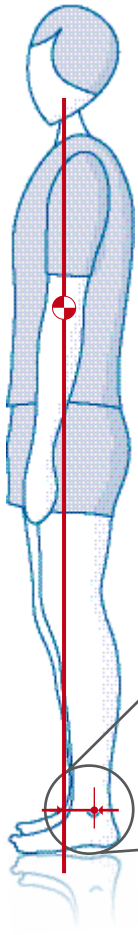
- 高い安定性は、立位と歩行における安心感を生み出します。義足から健足への体重移動もしっかりとサポートします。
- 多軸の動きにより、路面の凹凸を吸収します。
- 硬さ調節可能なヒールにより、ユーザー一人ひとりのニーズや歩行パターンに適合させることができます。これにより、再調整の手間を軽減します。
- 軽量構造 (サイズ 26 = 395 g*)
- 美しい外観と機能性を兼ね備えたフットシェルは2種類から選択可能です。
 - 標準タイプ (差高 10 mm ± 5 mm)
 - 幅狭タイプ (差高 20 mm ± 5 mm)フットシェルには取外し可能なコネクションプレートが付属しています。

* 重量カテゴリー 1 | フットシェルの重量を除く

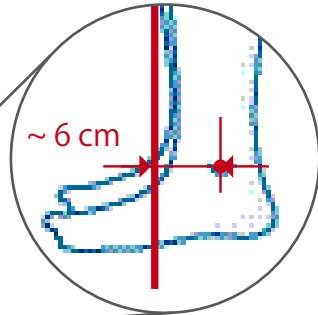


重心は、身体のバランスを取るために常に前後に移動します。立位時や歩行時は、様々な筋群が収縮することによって力のバランスを維持します。これにより、ユーザーは斜面や凸凹のある路面でも安定した立位を保つことができます。

もし重心線が足関節の真上を通過していたとしたら、筋力はほとんど、またはまったく必要ありません。しかし足関節の前後にある筋肉は、日常生活において絶えず交互に働いて重心を安定させなければならないのです。

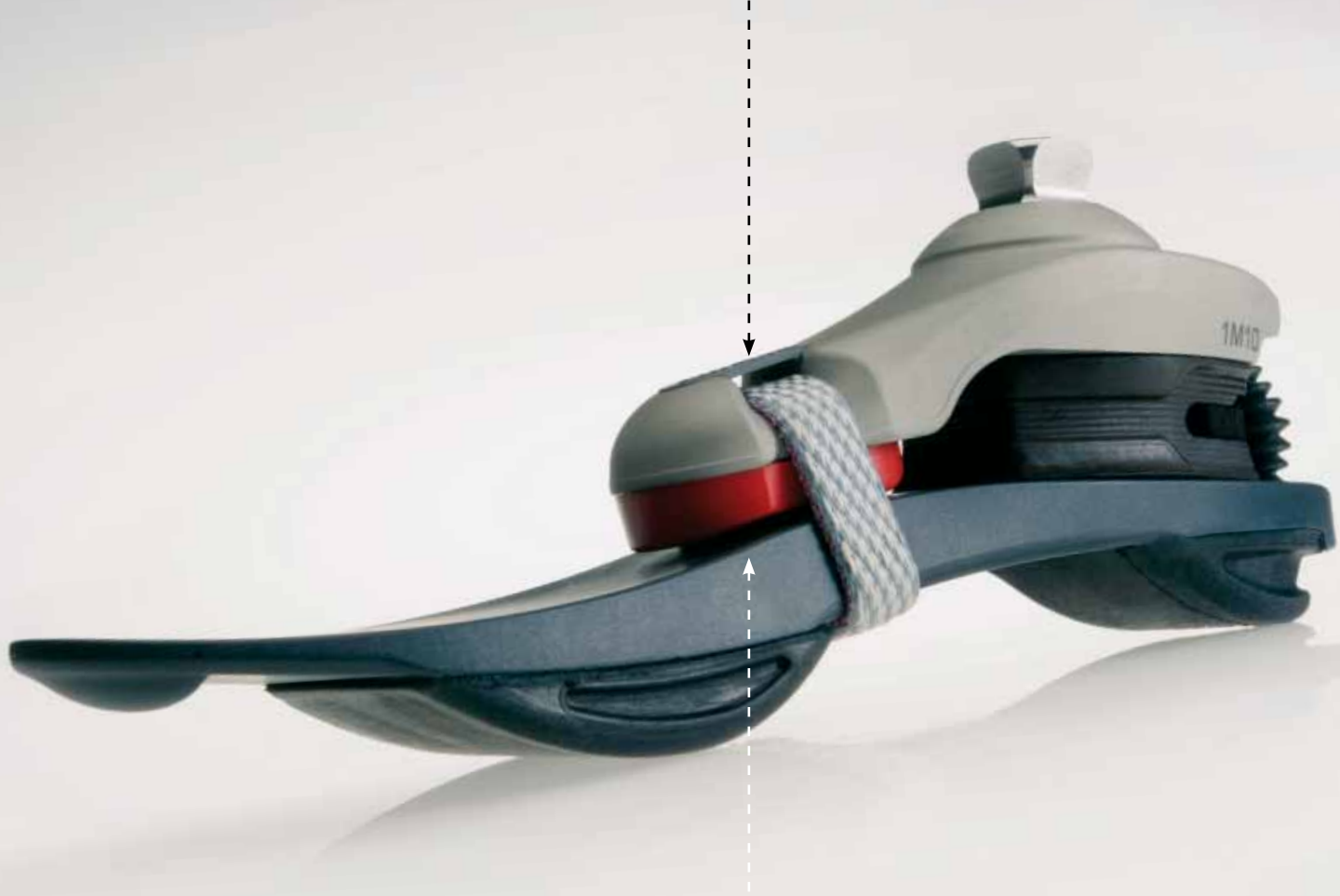


実際には重心線は足関節の約 6 cm 前方を通っているため、バランスを維持するためには、力強いふくらはぎの筋肉の収縮が必要となります。



生体力学

人体の本質から学ぶ

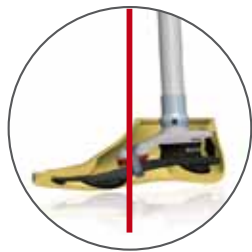


オットーボックのエンジニアは、アジャストのために革新的なデザインを開発しました。— それは、本来の重心移動に対応する多軸関節を持ったデザインです。

このデザインにより、ユーザーは、義足が支える体重の割合に関係なく安定した立位を維持することができます。一方の足から他方へと重心を移動させても、立脚の安定性に与える影響はごくわずかです。体のバランスを保つために重心を前後に移動させた場合でも同様です。

安定した立位

安定性が
自信を高める





安定した立位や歩行には、足底の安定性が必要です。
アジャストは路面に適合します。

全方向への可動性と、柔軟な踵部の調整ブロックおよび前足部のボールパッドにより、アジャストは、凹凸など路面の不均一を効果的に補整して吸収します。


これにより、義肢ユーザーはさまざまな路面で安定した立位を維持することができ、形状の異なる路面に対応しながらより容易に歩行することができます。

多軸機構

柔軟性が生む活動性

アジャストのアダプタープレートの下に配置された調整ブロックは、硬さ調整が可能です。一人ひとり異なるニーズに合わせ、義足の最適化を行うことができます。

硬さ調整で適合感が増し、義足の再調整を行う回数を減らすことにも繋がります。時間がかかり、ユーザーの大きな負担となる再調整の手間を低減することは、ユーザーのみならず義肢装具士にとっても大きなメリットとなります。

A close-up photograph of the heel area of a prosthetic foot. A rectangular, textured grey block is inserted into a slot within the black plastic housing. The block has a fine, grid-like pattern. The surrounding plastic is dark grey or black, with some red accents visible in the background. The lighting is bright, highlighting the textures and shapes of the components.

中程度の硬さの踵接地





柔らかい踵接地





硬い踵接地



一人ひとり、ニーズには個性がある。

一人ひとり異なる
ヒール特性

アジャストは、個性に新たな意味をもたらします。
重要なのは、ユーザーが義足に合わせるのではなく、義足をユーザーに適合させるということです。



設定 1
調整ブロック後方のインサートを抜いた状態
最も柔らかい踵接地が得られます。

設定 2
納品時の状態
中程度の硬さの踵接地となっています。
設定は、この位置から簡単に
変更することができます。





設定 3
調整ブロックを180度回転させた状態
硬い踵接地が得られます。

アジャストは、歩行中の快適な踵接地、優れた衝撃吸収、容易な踏み返しが得られることを特長としています。

瞬時に
フィットする

ユーザーのニーズに合わせてヒールの硬さを調節するのに時間はかかりません。調整は工具を使わずに行なうことができます。

テクニカルデータ

体重制限: 125 kg (最大)
体重カテゴリー: 1, 2, 3

美しい外観のフットシェル (標準タイプと幅狭タイプ) は、本体の付属品として同梱されています。

形状: 標準 (N)、幅狭 (S)
左右: 左 (L)、右 (R)
色: ベージュ (4)、ブラウン (15)

差高 (標準フットシェル装着時): 10 ± 5 mm (サイズ 22 - 30 cm)
差高 (幅狭フットシェル装着時): 20 ± 5 mm (サイズ 22 - 26 cm)



アジャストの構成要素



アダプタープレート

インサート付調整ブロック

ベローズ付ヒールバンド

ヒールパッド

オーダー方法

アジャスト 1M10 には、22~30 cm のサイズがあります。コネクションプレート付のフットシェルが付属しており、注文時に色と形状を選択することができます。

色: ベージュ (4)、カーキ (15)

形状: 標準 (N): 差高 10 mm ± 5 mm

幅狭 (S): 差高 20 mm ± 5 mm



整理番号	=	左右	サイズ	-	体重カテゴリー	-P/	色	形状
1M10	=	L	26	-	2	-P/	4	N

選択チャート

体重カテゴリー	サイズ (cm)			
	22-23	24-25	26-27	28-30
1	最大 52 kg	最大 58 kg	最大 72 kg	最大 77 kg
2	53 - 68 kg	59 - 76 kg	73 - 95 kg	78 - 100 kg
3	69 - 80 kg	77 - 100 kg	96 - 125 kg	101 - 125 kg

オットーボック MOBIS® モビリティシステムの
モビリティグレード 1-2 (屋内の歩行、および制限ある屋外
での歩行) のユーザーにお勧めします。



最大 80 kg
サイズ 22-23 cm



サイズ 24-25 cm



サイズ 26-30 cm

適応と 使用範囲

屋内の歩行、
および制限のある屋外での歩行

アジャストは、下腿切断者、膝関節離断者、大腿切断者、股関節離断者で、立位・歩行時の高い安全性と軽量な足部を必要とする低活動者に適しています。

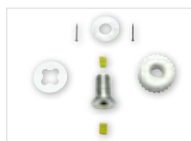


ソケット周辺製品、膝継手などの選択には、次の組み合わせをお勧めしています。これらの組み合わせは、技術研究、生体力学、実際の装着経験に基づいています。

断端の状態が義足システム全体に与える影響については、症例ごとに考慮する必要があります。また、義足ソケットの良好な適合と正しいアライメント調整が行われていることを前提としています。

下腿切断者に推奨する組合わせ

モビリティグレード 1 の下腿切断者は、義足を装着した時のカチッという音に安心を感じます。ここでポイントとなるのはシャトルロックです。 シャトルロックとの組合わせにはシリコンライナーが最適です。どのシリコンライナーを選択するかは断端の特性と形状で決まります。円筒形状の断端には、通常シリコンジェルライナー 6Y70 を装着します。円錐形状の断端の場合、より高い弾力性を持つライナーが必要です。これには、シリコンライナー 6Y40 やコポリマーライナー 6Y90 をお勧めします。



モビリティグレード 2 のユーザーにも、上記の組合わせをお勧めします。ただし、このグループのユーザーは断端が骨張っていることが多く、感覚喪失 (糖尿病の合併症) が生じていることもあります。この場合、コポリマー製またはポリウレタン製ライナーをワンウェイバルブおよびシーリングスリーブとコネクターなしで組合わせて使用することをお勧めします。これにより、ソケット内に生じる圧力分散がコントロールされ、断端へのソケットの密着感が高まります。

大腿切断者に推奨する組合わせ



どちらのモビリティグレード (MOBIS 1・2) のユーザーも、安心感の高い座位での義足装着が適しています。

キスキット 4R160 はこのような装着方法に最適です。またキスキットは、回旋の防止もできる数少ないライナー懸垂システムです。キスキットとの組合わせには、TFアダプトライナー 6Y80 が最適です。立位で義足の装着ができる活動的なユーザーは、通常、バルブによる吸着ソケットを好みます。プッシュバルブはワンタッチでの着脱が可能なバルブで、特にこのグループのユーザーにとって使いやすい製品となっています。



ローテーションアダプター (ターンテーブル) は、すべての大腿切断者に利便性を提供します。日常生活に必要な様々な動作を行なうために、クリアランスに余裕があるユーザー用の義足には必ず使用してください。

ボタンを押すと360°の回転が可能となり、義足を上向きや横向きに動かすことができます。これにより、腰に負担をかけることなくズボンや靴、ソックスを簡単に脱ぎ着できます。自動車運転の際には、義足の膝から下だけを回転させ横に向けることができます。こうすることでより楽な姿勢で座ることができるため、運転への集中度が高まります。





膝継手の選択は、義足の機能に大きく影響します。

義足を屋内でのみ使用する低活動者 (モビリティグレード 1) には、アジャスト 1M10と マニュアルロック膝継手プラスチック 3R41の組み合わせをお勧めします。非常に軽量で耐久性の高い 3R41 は、安全性と使いやすさにおいて、モビリティグレード1のユーザーの要求に応えるため特別に設計されました。



モビリティグレード 2 のユーザーには、高い安全性に加え、装着時の大きな快適性とスピード変化への対応が必要となります。従って、膝継手の機能に対する要求度も同様に高いものとなります。これには、アジャスト 1M10と、意図しない膝折れを防止する荷重ブレーキシステムを内蔵した、荷重ブレーキ膝継手 空圧式 3R92を組み合わせるのが最適です。3R92では、立脚中期以降にブレーキが解除されることで、スムーズな遊脚相への移行が可能です。また、空圧シリンダーによって歩行スピードへの対応も可能です。

モビリティグレード 2 のユーザーで、より要求の高い方には、アジェスト 1M10と 四節リンク空圧膝継手 3R106 の組み合わせをお勧めします。3R106 は、多軸構造による立脚期の高い安定性を特長としています。膝関節の回転中心は、特別に配置した 4 本の膝軸で形成されています。前足部に体重を移動することで、簡単に遊脚相へ移行することができます。3R106 独自の空圧シリンダーを採用することにより、モビリティグレード 2 のユーザーに求められる遊脚相での歩行スピードへの対応を容易に行うことができます。175°という大きな屈曲角度により、様々な動作を自由に行なうことができ、装着時の高い快適性が得られます。



KD	3R23, 3R32, 3R21, 3R30, 3R106=KD, 3R60=KD, 3R60-PRO=KD
TF	3R40, 3R17, 3R33, 3R41, 3R15, 3R49, 3R20, 3R36, 3R90, 3R92, 3R106*, 3R60*, 3R60-PRO*, C-Leg® compact



1M10 アジャストは次の特許により保護されています:

ブラジル、中国、ドイツ、インド、日本、ロシア、米国、台湾および欧州特許に登録されています。

1M10 アジャストは次のデザイン特許により保護されています:

欧州デザイン特許 European Design: No. 001155626